



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 ニプロ株式会社 上場取引所 東
コード番号 8086 URL <https://www.nipro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 嘉彦
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理統括 (氏名) 余語 岳仁 (TEL) 06-6310-6804
経営企画本部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|--------|-------|--------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 285,865 | 9.8 | 13,488 | 111.7 | 14,736 | 27.0 | 9,931 | 58.8 |
| 2023年3月期第2四半期 | 260,339 | 7.5 | 6,371 | △50.5 | 11,604 | △6.7 | 6,252 | △14.4 |

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 33,048百万円(△15.8%) 2023年3月期第2四半期 39,261百万円(91.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 60.89 | 53.95 |
| 2023年3月期第2四半期 | 38.34 | 33.97 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 1,095,729 | 273,972 | 21.6 |
| 2023年3月期 | 1,027,399 | 242,173 | 20.1 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 237,105百万円 2023年3月期 206,317百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 13.50 | — | 8.50 | 22.00 |
| 2024年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 599,240 | 9.9 | 24,000 | 35.4 | 20,650 | 34.6 | 11,200 | 144.8 | 68.67 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2024年3月期2Q | 171,459,479株 | 2023年3月期 | 171,459,479株 |
| 2024年3月期2Q | 8,363,215株 | 2023年3月期 | 8,363,001株 |
| 2024年3月期2Q | 163,096,369株 | 2023年3月期2Q | 163,096,752株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2024年3月期2Qおよび2023年3月期の期末自己株式数には、株式会社日本カस्टディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年3月期2Q : 599,900株、2023年3月期 : 600,000株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (収益認識関係) | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が緩和され、緩やかに持ち直す動きがみられました。一方で、世界経済は高インフレに対する各国の金融引き締め継続から減速が強まる状況にあり、先行き不透明な状況で推移しました。

医療機器、医薬品業界におきましては、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増しつつあります。しかしながら、そのような状況下においても当社グループは、すべての人が適切な医療を受けることができる持続可能な世界の実現を目指して、今後もより安全な医療環境の整備の一翼を担うべく、医療機器・医薬品メーカーとしての責任と役割を果たしてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されるなか、主力の透析、ホスピタル関連製品の需要機会を逃すことなく販売、プロモーション活動に注力したことに加え、為替相場が円安方向で高位安定に推移したことで輸出売上高が押し上げられたため、堅調に推移しました。また昨年12月販売開始のエソメプラゾールが売上高の増加に大きく貢献しました。この結果、連結売上高は前年同期比9.8%増加となる2,858億65百万円となりました。

利益面におきましては、販売数量の増加により工場の操業度が改善したこと、原材料・エネルギー価格の高騰によるコスト増加を吸収することができました。また、物流費の急騰一服や治験費用の減少等で、販売費及び一般管理費が前年同期比で減少となったことにより、営業利益は前年同期比111.7%増加の134億88百万円となりました。

経常利益は、高位安定する円安局面において外貨建預金や売掛金の換算替えによる為替差益はやや縮小したものの、堅調な営業利益に支えられ、前年同期比27.0%増加となる147億36百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損益として政策保有株式の売却益と中国子会社の売却損失を計上した結果、前年同期比58.8%増加の99億31百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医療関連事業

国内販売におきましては、メディカル営業部門で植込み型補助人工心臓が引き続き好調に推移したほか、注射・輸液関連製品においても販売増加と価格改定により好調に推移しました。しかしながら、バスキュラー関連製品の当社占有市場に対する他社参入の影響や、透析装置設置の減少により全体では低調な推移となりました。医薬営業部門は、昨年12月に発売したエソメプラゾールが56大学病院本院で採用されるなど、順調に拡大しております。また、不採算算定品の値上げにつきましても市場の理解を得ながら改善に向け進んでおり、売上高、利益ともに好調に推移しました。依然として供給問題が続くなかでの、得意先への丁寧な説明と真摯な姿勢は高い評価をいただき、ニプロMRのプレゼンス向上に寄与するものとなりました。

海外販売におきましては、世界各地で積極的な販売活動を展開し、ダイアライザ・透析装置をはじめとする主力商品の販売が順調に伸長しました。10月に米国大手透析プロバイダとの長期購買契約を更新したことにより、ダイアライザを含む透析消耗品の安定的販売先を確保しました。透析関連製品の展示会としては2023年7月にマレーシアのパナンで開催されたマレーシア腎臓学会および同年8月にインドのグジャラートで開催されたインド医療機器展示会に、また、注力するバスキュラー関連製品の展示会としては同年8月にブラジルのリオデジャネイロで開催された中南米心臓インターベンション学会に出展し、同地域でのニプロブランドの浸透を図りました。自社透析センターも、引き続き世界各国で市場を拡大しており、当第2四半期においては中国、マレーシア、ブラジルで各1施設計3施設を新規開設しました。新興国を中心に質の高い治療を提供できる環境を整え、地域医療に貢献し続けてまいります。運送費におきましては、海上運賃が正常に戻りつつある一方、国内外の陸送コストは上昇傾向となっているため、今後も地産地消の促進、ハブ倉庫の活用、物流の最適化、安全在庫の確保などにより、安定供給および経費削減を推進してまいります。これらの活動を通じ医療現場のニーズに迅速に対応することにより、顧客満足度の向上に努め、販売強化および管理強化による売上高の拡大、利益の確保につなげてまいります。

生産拠点としましては、大館工場で2021年7月に着工した第7工場が本年7月に完成しました。第3四半期において当該工場でのダイアライザ新生産ラインの稼働を予定しています。加えて、2024年7月に東洋紡株式会社と共同でダイアライザー貫生産ラインの稼働を計画しており、さらなる供給能力の拡大に尽力しております。

この結果、当事業の売上高は2,202億34百万円(前年同期比9.7%増)、セグメント利益(営業利益)は225億61百万円(前年同期比21.4%増)となりました。

② 医薬関連事業

医薬関連事業におきましては、複数の新規受託品の出荷開始や前年に受注が減少していた製品の回復に伴い、注射剤の出荷数が増加しました。また原価上昇に伴う仕切価格の変更も寄与し、他の製品の出荷減少分を上回り、売上高は前年同期比で微増となりました。

営業利益につきましては、依然として原材料・エネルギー価格の高騰により製造経費は高止まりしておりますが、仕切価格の変更による利益率の改善、ニプロファーマ・ベトナム・リミテッドでの生産効率の改善活動による収益改善に加え、ニプロファーマの在庫評価損益の改善による一過性の要因もあり、前年同期比で大幅増となりました。しかしながら、後発品を中心とした販売終了品による生産減の影響、ならびに第3四半期以降の新規設備の稼働に伴う設備償却費の増大が見込まれるため、利益は減少傾向に転じる見込みです。

この結果、当事業の売上高は352億33百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益(営業利益)は37億34百万円(前年同期比339.9%増)となりました。

③ ファーマパッケージング事業

ファーマパッケージング事業におきましては、医薬用包装容器およびガラス管(医薬用包装容器の材料)の増産体制を整備するとともにインフレに伴う利益減少を緩和するための施策を進めました。顧客向けの販売単価適正化に加え、各工場の最適活動を追求、グローバル規模での生産効率とコスト競争力向上に注力しました。

販売面では欧米市場における医薬用包装容器が二桁増収となった一方、ガラス管は世界的な在庫調整局面にあることから軟調な経過となりました。中国市場では、ワクチン需要減少に伴い収益率が減少しましたが、付加価値の高い医薬用包装容器やデバイス、ゴム栓等の輸入販売も含め、プロモーション活動を精力的に実施しました。また日本国内市場においては、高利益品である輸液システムや注射システム関連製品、バイアル製剤の販売が堅調に推移しました。なお当事業期間において、フランスのガラス管新工場立ち上げに伴う関連費用を一括費用計上しております。

この結果、当事業の売上高は299億80百万円(前年同期比19.7%増)、セグメント利益(営業利益)は14億50百万円(前年同期比30.8%減)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、不動産賃貸等による売上高が4億17百万円(前年同期比22.4%増)、セグメント損失(営業損失)は1億9百万円(前年同期は1億68百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1兆957億29百万円で、前連結会計年度末に比べ683億29百万円の増加となりました。このうち流動資産は356億92百万円の増加、固定資産は326億37百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、商品及び製品が119億49百万円増加したことによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産の建物及び構築物(純額)が343億51百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は8,217億56百万円で、前連結会計年度末に比べ365億31百万円の増加となりました。このうち流動負債は449億90百万円の増加、固定負債は84億59百万円の減少となりました。流動負債の増加の主な要因は、短期借入金が229億66百万円増加したことによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が58億65百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は2,739億72百万円で、前連結会計年度末に比べ317億98百万円の増加となりました。このうち株主資本は84億43百万円の増加、その他の包括利益累計額は223億44百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.5ポイント増加し、21.6%となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は、前連結会計年度末に比べて8億87百万円減少し、838億8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は187億24百万円(前年同期は37億12百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、減価償却費258億20百万円、税金等調整前四半期純利益174億55百万円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額124億59百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は355億20百万円(前年同期は412億77百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入85億94百万円であり、支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出407億69百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は89億26百万円(前年同期は238億21百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入322億10百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出343億70百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想に関しましては、予想の前提となる想定為替レートの見直しを行いました。現時点での予想は、別途同日に開示いたしました「第2四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」に記載したとおりの理由から2023年8月9日に発表時からの変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 89,678 | 87,219 |
| 受取手形及び売掛金 | 160,271 | 170,355 |
| 商品及び製品 | 137,774 | 149,723 |
| 仕掛品 | 17,427 | 20,289 |
| 原材料及び貯蔵品 | 52,592 | 56,953 |
| その他 | 35,701 | 45,041 |
| 貸倒引当金 | △4,157 | △4,601 |
| 流動資産合計 | 489,289 | 524,982 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 287,677 | 326,645 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △147,531 | △152,149 |
| 建物及び構築物(純額) | 140,145 | 174,496 |
| 機械装置及び運搬具 | 360,642 | 392,140 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △265,162 | △278,335 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 95,480 | 113,804 |
| 土地 | 47,123 | 47,528 |
| リース資産 | 35,947 | 37,273 |
| 減価償却累計額 | △13,115 | △14,671 |
| リース資産(純額) | 22,831 | 22,601 |
| 建設仮勘定 | 103,336 | 83,094 |
| その他 | 89,858 | 98,433 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △66,224 | △71,562 |
| その他(純額) | 23,633 | 26,870 |
| 有形固定資産合計 | 432,550 | 468,396 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 14,514 | 17,993 |
| リース資産 | 2,302 | 2,175 |
| その他 | 17,187 | 15,903 |
| 無形固定資産合計 | 34,004 | 36,071 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 37,220 | 30,122 |
| 繰延税金資産 | 10,377 | 11,969 |
| その他 | 30,267 | 30,792 |
| 貸倒引当金 | △6,309 | △6,604 |
| 投資その他の資産合計 | 71,555 | 66,278 |
| 固定資産合計 | 538,109 | 570,746 |
| 資産合計 | 1,027,399 | 1,095,729 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 76,141 | 83,033 |
| 短期借入金 | 130,570 | 153,537 |
| コマーシャル・ペーパー | 10,000 | 10,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 2,000 | 2,000 |
| リース債務 | 4,440 | 4,645 |
| 未払金 | 23,153 | 22,416 |
| 未払法人税等 | 4,897 | 7,990 |
| 前受金 | 426 | 520 |
| 前受収益 | 578 | 360 |
| 賞与引当金 | 5,955 | 9,280 |
| 役員賞与引当金 | 13 | 2 |
| 設備関係支払手形 | 10,191 | 23,735 |
| その他 | 34,542 | 30,378 |
| 流動負債合計 | 302,910 | 347,900 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 76,700 | 75,700 |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 30,210 | 30,180 |
| 長期借入金 | 316,555 | 310,690 |
| リース債務 | 25,265 | 24,849 |
| 繰延税金負債 | 1,276 | 1,467 |
| 退職給付に係る負債 | 5,164 | 5,759 |
| 役員退職慰労引当金 | 686 | 513 |
| 役員株式給付引当金 | 11 | 10 |
| 訴訟損失引当金 | 153 | 210 |
| その他 | 26,291 | 24,473 |
| 固定負債合計 | 482,315 | 473,855 |
| 負債合計 | 785,225 | 821,756 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 84,397 | 84,397 |
| 利益剰余金 | 95,521 | 103,965 |
| 自己株式 | △10,748 | △10,749 |
| 株主資本合計 | 169,170 | 177,614 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,162 | 5,828 |
| 繰延ヘッジ損益 | △47 | △47 |
| 為替換算調整勘定 | 28,716 | 52,514 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,315 | 1,196 |
| その他の包括利益累計額合計 | 37,147 | 59,491 |
| 非支配株主持分 | 35,856 | 36,866 |
| 純資産合計 | 242,173 | 273,972 |
| 負債純資産合計 | 1,027,399 | 1,095,729 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 260,339 | 285,865 |
| 売上原価 | 181,475 | 200,062 |
| 売上総利益 | 78,863 | 85,803 |
| 販売費及び一般管理費 | 72,492 | 72,315 |
| 営業利益 | 6,371 | 13,488 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 484 | 679 |
| 受取配当金 | 770 | 518 |
| 為替差益 | 6,543 | 3,604 |
| その他 | 1,015 | 1,259 |
| 営業外収益合計 | 8,813 | 6,061 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,023 | 2,847 |
| 持分法による投資損失 | 629 | 949 |
| その他 | 928 | 1,017 |
| 営業外費用合計 | 3,581 | 4,813 |
| 経常利益 | 11,604 | 14,736 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,232 | 812 |
| 投資有価証券売却益 | 219 | 3,682 |
| 国庫補助金 | - | 367 |
| その他 | 50 | 251 |
| 特別利益合計 | 2,502 | 5,112 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 161 | 306 |
| 係争費用 | 272 | 146 |
| 操業休止関連費用 | 320 | - |
| 関係会社出資金売却損 | - | 1,605 |
| その他 | 206 | 334 |
| 特別損失合計 | 961 | 2,393 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,145 | 17,455 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,306 | 7,242 |
| 法人税等調整額 | △211 | △197 |
| 法人税等合計 | 6,094 | 7,044 |
| 四半期純利益 | 7,051 | 10,410 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 798 | 479 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 6,252 | 9,931 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 7,051 | 10,410 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,662 | △1,332 |
| 繰延ヘッジ損益 | 31 | 2 |
| 為替換算調整勘定 | 31,756 | 23,499 |
| 退職給付に係る調整額 | 403 | △119 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1,681 | 587 |
| その他の包括利益合計 | 32,210 | 22,637 |
| 四半期包括利益 | 39,261 | 33,048 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 38,020 | 32,276 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,240 | 772 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,145 | 17,455 |
| 減価償却費 | 21,538 | 25,820 |
| のれん償却額 | 1,180 | 1,276 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 629 | 949 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 757 | 301 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △64 | - |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 251 | 183 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,254 | △1,197 |
| 支払利息 | 2,023 | 2,847 |
| 為替差損益(△は益) | △5,969 | △3,462 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △213 | △3,682 |
| 国庫補助金 | - | △367 |
| 関係会社出資金売却損益(△は益) | - | 1,605 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △2,148 | △946 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △11,661 | △12,459 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △7,229 | 813 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △4,448 | △4,650 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 6,320 | 938 |
| その他の損益(△は益) | △2,014 | △109 |
| 小計 | 10,842 | 25,314 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,284 | 1,048 |
| 利息の支払額 | △1,942 | △2,811 |
| その他の収入 | 251 | 250 |
| その他の支出 | △639 | △818 |
| 法人税等の支払額 | △6,324 | △5,162 |
| 法人税等の還付額 | 240 | 904 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,712 | 18,724 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △672 | △574 |
| 定期預金の払戻による収入 | 944 | 2,382 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △46 | △30 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 690 | 8,594 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の売却による支出 | - | △1,011 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △676 | △2,358 |
| 事業譲受による支出 | △15 | △13 |
| 子会社株式の取得による支出 | △250 | - |
| 子会社出資金の取得による支出 | - | △193 |
| 固定資産の取得による支出 | △51,059 | △40,769 |
| 固定資産の売却による収入 | 9,931 | 995 |
| 固定資産の除却による支出 | △57 | △19 |
| 設備投資助成金の受入による収入 | 10 | 483 |
| 短期貸付金の純増減額(△は増加) | △72 | △3,025 |
| 貸付けによる支出 | △70 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 65 | 48 |
| その他の支出 | △0 | △28 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △41,277 | △35,520 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|----------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 9,290 | 15,447 |
| 長期借入れによる収入 | 47,499 | 32,210 |
| 長期借入金の返済による支出 | △28,052 | △34,370 |
| 社債の償還による支出 | △1,100 | △1,000 |
| 自己株式の売却による収入 | - | 0 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △0 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 214 | 930 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △1,579 | △1,811 |
| 配当金の支払額 | △2,041 | △1,390 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △109 | △30 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △299 | - |
| 割賦債務の返済による支出 | - | △1,058 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 23,821 | 8,926 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △188 | △887 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 90,071 | 84,695 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 12 | - |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 89,895 | 83,808 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|-----------------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 医療関連 | 医薬関連 | ファーマ パッケージ ジニング | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 200,823 | 34,133 | 25,040 | 259,998 | 340 | 260,339 | — | 260,339 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,080 | 10,798 | 2,951 | 16,829 | 1,751 | 18,581 | △18,581 | — |
| 計 | 203,903 | 44,931 | 27,992 | 276,828 | 2,092 | 278,921 | △18,581 | 260,339 |
| セグメント利益 | 18,590 | 849 | 2,096 | 21,536 | 168 | 21,704 | △15,332 | 6,371 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△15,332百万円には、未実現利益の調整額△1,145百万円、本社費用△14,187百万円が含まれております。本社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|-----------------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 医療関連 | 医薬関連 | ファーマ パッケージ ジニング | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 220,234 | 35,233 | 29,980 | 285,448 | 417 | 285,865 | — | 285,865 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,345 | 27,620 | 3,052 | 34,019 | 2,046 | 36,065 | △36,065 | — |
| 計 | 223,580 | 62,853 | 33,033 | 319,467 | 2,464 | 321,931 | △36,065 | 285,865 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 22,561 | 3,734 | 1,450 | 27,746 | △109 | 27,636 | △14,148 | 13,488 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14,148百万円には、未実現利益の調整額△1,264百万円、本社費用△12,884百万円が含まれております。本社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益の分解情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(1) 財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|--------------------|---------|--------|----------------------|---------|------------|---------|
| | 医療関連 | 医薬関連 | ファーマ パッケージ ジング | 計 | | |
| 医療機器 | 150,469 | — | 1,681 | 152,151 | — | 152,151 |
| 医薬品 | 50,336 | 34,133 | 184 | 84,654 | — | 84,654 |
| ファーマパッケージ ジング製品 | 12 | — | 23,062 | 23,075 | — | 23,075 |
| その他 | 4 | — | 112 | 117 | 120 | 237 |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 200,823 | 34,133 | 25,040 | 259,998 | 120 | 260,119 |
| その他の収益 | — | — | — | — | 220 | 220 |
| 外部顧客への売上高 | 200,823 | 34,133 | 25,040 | 259,998 | 340 | 260,339 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

(2) 地域別の内訳

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|--------|----------------------|---------|------------|---------|
| | 医療関連 | 医薬関連 | ファーマ パッケージ ジング | 計 | | |
| 日本 | 101,451 | 31,273 | 5,794 | 138,519 | 120 | 138,640 |
| アメリカ | 41,944 | — | 5,327 | 47,272 | — | 47,272 |
| ヨーロッパ | 22,467 | 39 | 10,102 | 32,609 | — | 32,609 |
| アジア | 34,960 | 2,820 | 3,816 | 41,597 | — | 41,597 |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 200,823 | 34,133 | 25,040 | 259,998 | 120 | 260,119 |
| その他の収益 | — | — | — | — | 220 | 220 |
| 外部顧客への売上高 | 200,823 | 34,133 | 25,040 | 259,998 | 340 | 260,339 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(1) 財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|--------------------|---------|--------|----------------------|---------|------------|---------|
| | 医療関連 | 医薬関連 | ファーマ パッケージ ジング | 計 | | |
| 医療機器 | 157,887 | — | 2,017 | 159,905 | — | 159,905 |
| 医薬品 | 62,290 | 35,233 | 418 | 97,942 | — | 97,942 |
| ファーマパッケージ ジング製品 | 51 | — | 27,500 | 27,551 | — | 27,551 |
| その他 | 5 | — | 44 | 49 | 200 | 250 |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 220,234 | 35,233 | 29,980 | 285,448 | 200 | 285,649 |
| その他の収益 | — | — | — | — | 216 | 216 |
| 外部顧客への売上高 | 220,234 | 35,233 | 29,980 | 285,448 | 417 | 285,865 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。

(2) 地域別の内訳

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|--------|----------------------|---------|------------|---------|
| | 医療関連 | 医薬関連 | ファーマ パッケージ ジング | 計 | | |
| 日本 | 111,018 | 32,000 | 6,485 | 149,504 | 198 | 149,703 |
| アメリカ | 43,362 | — | 6,685 | 50,048 | 1 | 50,049 |
| ヨーロッパ | 25,333 | 100 | 13,150 | 38,584 | — | 38,584 |
| アジア | 40,519 | 3,132 | 3,658 | 47,310 | 0 | 47,311 |
| 顧客との契約から 生じる収益 | 220,234 | 35,233 | 29,980 | 285,448 | 200 | 285,649 |
| その他の収益 | — | — | — | — | 216 | 216 |
| 外部顧客への売上高 | 220,234 | 35,233 | 29,980 | 285,448 | 417 | 285,865 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等による売上高と本社等の売上高を含んでおります。